

## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	163,172	0.7	12,464	36.5	13,032	34.7	8,043	26.0
2023年3月期第2四半期	164,279	16.3	19,614	9.3	19,972	8.7	10,873	8.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 26,272百万円 (13.0%) 2023年3月期第2四半期 30,213百万円 (43.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.69	
2023年3月期第2四半期	55.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	420,865	272,071	52.2
2023年3月期	399,174	255,318	51.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 219,688百万円 2023年3月期 203,951百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				38.00	38.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	341,000	2.8	21,700	42.8	22,500	41.9	15,000	29.3	75.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	199,699,743 株	2023年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,995,673 株	2023年3月期	1,995,612 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	197,704,122 株	2023年3月期2Q	197,704,145 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は2023年11月14日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

## ○ 第2四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高163,172百万円（前年同期比0.7%減）、売上総利益55,459百万円（同4.2%減）、販売費及び一般管理費42,995百万円（同12.4%増）、営業利益12,464百万円（同36.5%減）、経常利益13,032百万円（同34.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,043百万円（同26.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、ソフトアルコール飲料や原料用アルコール等は増加したものの、焼酎、清酒や本みりんなどは減少いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、61,190百万円（前年同期比1.0%減）となりました。売上原価は、引き続き原材料価格の上昇の影響などはありませんでしたが、売上構成の変化などにより45,216百万円（同5.3%減）となり、売上総利益は、15,974百万円（同13.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期並みの12,021百万円（同0.2%増）となり、営業利益は、3,952百万円（同91.9%増）となりました。

## [宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、米国、英国でウイスキーが引き続き増加し、清酒も増加いたしましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業も、海外の飲食店市場を中心に引き続き好調に推移し、新規拠点の展開なども寄与いたしましたので、増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、77,164百万円（前年同期比21.1%増）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い増加し、52,786百万円（同20.7%増）となり、売上総利益は、24,377百万円（同22.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し、18,120百万円（同26.5%増）となり、営業利益は、6,256百万円（同10.6%増）となりました。

## [タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置づけの変更による検査関連試薬の販売減少などにより、19,116百万円（前年同期比41.3%減）となりました。売上原価は、売上高の減少などにより5,772百万円（同45.3%減）となりましたので、売上総利益は、13,343百万円（同39.4%減）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や研究開発費などが増加し、11,933百万円（同7.0%増）となり、営業利益は、1,410百万円（同87.0%減）となりました。

## [その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、物流事業や印刷事業などが減少いたしましたので、14,866百万円（前年同期比4.6%減）となりました。売上原価は、12,729百万円（同5.0%減）となり、売上総利益は、2,136百万円（同2.2%減）となりました。販売費及び一般管理費は、943百万円（同0.2%増）となり、営業利益は、1,193百万円（同4.0%減）となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	対前年 増減率
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	19,998	17,469	△12.6
清酒	4,697	4,252	△9.5
ソフトアルコール飲料	20,525	21,782	6.1
その他酒類	2,823	2,750	△2.6
本みりん	4,710	4,546	△3.5
その他調味料	4,321	4,447	2.9
原料用アルコール等	4,743	5,941	25.2
計	61,820	61,190	△1.0
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	8,287	10,262	23.8
海外日本食材卸	56,421	68,084	20.7
その他	2,812	215	△92.4
グループ内連結消去	△3,791	△1,397	—
計	63,730	77,164	21.1
タカラバイオグループ			
試薬	27,565	14,949	△45.8
機器	694	411	△40.7
受託	3,183	2,702	△15.1
遺伝子医療	1,144	1,052	△8.0
計	32,587	19,116	△41.3
報告セグメント計	158,138	157,471	△0.4
その他	15,577	14,866	△4.6
セグメント計	173,715	172,338	△0.8
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△9,435	△9,165	—
合計	164,279	163,172	△0.7

(注) 販売金額には酒税を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は240,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,164百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が7,453百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,646百万円、商品及び製品が3,189百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は180,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,855百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が、建物及び構築物や建設仮勘定の増加などにより11,856百万円、無形固定資産が1,048百万円、投資その他の資産が投資有価証券の時価評価の増加などにより9,950百万円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、420,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,691百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は76,847百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,392百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が5,160百万円、1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払酒税が3,458百万円それぞれ増加し、未払金の減少などにより流動負債のその他が4,698百万円減少したことによるものであります。固定負債は71,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,454百万円減少いたしました。これは主に社債が5,000百万円、長期借入金が4,703百万円それぞれ減少し、固定負債のその他が5,303百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、148,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,938百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は272,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,753百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が4,688百万円、円安の進行により為替換算調整勘定が10,416百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は51.1%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益12,984百万円、減価償却費4,796百万円、未払酒税の増加3,458百万円、その他の流動負債の減少2,453百万円、法人税等の支払額3,319百万円などにより、14,922百万円の収入と、前年同期に比べ7,691百万円の収入増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出14,540百万円などにより、15,796百万円の支出と、前年同期に比べ6,243百万円の支出増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額7,497百万円などにより、9,711百万円の支出と、前年同期に比べ11,913百万円の支出減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より7,339百万円減少し、84,446百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。

各セグメントの2024年3月期通期の見通しは、宝酒造では、売上高は、本みりんや原料用アルコール等の販売数量が想定よりも下回る影響で、前回予想を下回る見通しです。営業利益は、売上高が未達となりますが、コストアップの抑制や販売促進費の効率的使用により、広告宣伝を強化するものの、販売費及び一般管理費が減少し、前回予想を上回る見通しです。

宝酒造インターナショナルグループは、売上高は、インフレによる消費の鈍化が進んでいることにより、前回予想を下回り、営業利益についても、売上高の減少による売上総利益の未達により、前回予想を下回る見通しです。

タカラバイオグループは、売上高は、インフレの長期化や経済不況の影響等を受けて世界のライフサイエンス研究開発市場が低迷するとともに、製品やサービスの価格競争も激化していることから、試薬・機器事業および受託事業（遺伝子解析受託）等が前回予想を下回り、営業利益は、売上高の減少による売上総利益の未達により、前回予想を下回る見通しです。

これにより、グループ全体で売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を下回る見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却等による特別利益を計上することから、前回予想からの修正はございません。連結業績予想の詳細及びセグメント別の業績予想につきましては、「決算短信補足資料」内（PAGE10/15～13/15）に記載しております。

※本日（2023年11月9日）、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号 4974 東証プライム市場）も、2023年5月11日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

#### (通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A) (2023年5月11日公表)	百万円 355,000	百万円 26,300	百万円 26,800	百万円 15,000	円 銭 75.87
今回修正予想 (B)	341,000	21,700	22,500	15,000	75.87
増減額 (B - A)	△14,000	△4,600	△4,300	—	—
増減率 (%)	△3.9	△17.5	△16.0	—	—
ご参考：前期実績 (2023年3月期)	350,665	37,945	38,706	21,206	107.26

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	96,820	89,367
受取手形及び売掛金	69,717	71,363
商品及び製品	57,812	61,002
仕掛品	1,718	2,132
原材料及び貯蔵品	7,372	7,577
その他	8,765	9,589
貸倒引当金	△694	△684
流動資産合計	241,513	240,349
固定資産		
有形固定資産	88,890	100,747
無形固定資産		
のれん	10,668	11,505
その他	5,262	5,474
無形固定資産合計	15,931	16,980
投資その他の資産		
投資有価証券	30,573	37,373
その他	22,328	25,478
貸倒引当金	△64	△63
投資その他の資産合計	52,838	62,789
固定資産合計	157,661	180,516
資産合計	399,174	420,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,775	22,126
短期借入金	4,919	10,079
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	5,815	9,274
未払費用	6,368	6,019
未払法人税等	2,220	2,824
引当金	3,622	3,488
その他	22,733	18,035
流動負債合計	67,454	76,847
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	15,186	10,482
退職給付に係る負債	8,925	8,872
その他	32,288	37,591
固定負債合計	76,401	71,946
負債合計	143,856	148,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,994	1,994
利益剰余金	163,825	164,356
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	177,363	177,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,974	17,663
繰延ヘッジ損益	286	290
為替換算調整勘定	13,686	24,103
退職給付に係る調整累計額	△359	△261
その他の包括利益累計額合計	26,588	41,795
非支配株主持分	51,366	52,382
純資産合計	255,318	272,071
負債純資産合計	399,174	420,865



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	164,279	163,172
売上原価	106,400	107,713
売上総利益	57,879	55,459
販売費及び一般管理費	38,264	42,995
営業利益	19,614	12,464
営業外収益		
受取配当金	445	496
その他	452	551
営業外収益合計	898	1,048
営業外費用		
支払利息	149	184
持分法による投資損失	113	—
為替差損	113	—
訴訟損失引当金繰入額	—	109
その他	163	185
営業外費用合計	539	480
経常利益	19,972	13,032
特別利益		
固定資産売却益	252	28
投資有価証券売却益	—	8
受取保険金	652	—
国庫補助金	63	—
特別利益合計	967	36
特別損失		
固定資産除売却損	45	84
固定資産圧縮損	63	—
その他	16	—
特別損失合計	125	84
税金等調整前四半期純利益	20,815	12,984
法人税、住民税及び事業税	5,405	4,290
法人税等調整額	580	△337
法人税等合計	5,985	3,953
四半期純利益	14,829	9,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,956	988
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,873	8,043

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	14,829	9,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,113	4,688
繰延ヘッジ損益	372	3
為替換算調整勘定	16,041	12,436
退職給付に係る調整額	82	111
その他の包括利益合計	15,383	17,240
四半期包括利益	30,213	26,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,835	23,250
非支配株主に係る四半期包括利益	7,377	3,022

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,815	12,984
減価償却費	4,336	4,796
のれん償却額	472	544
引当金の増減額 (△は減少)	△297	△231
受取利息及び受取配当金	△531	△650
支払利息	149	184
固定資産除売却損益 (△は益)	△206	56
受取保険金	△652	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,541	941
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,429	1,663
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,131	△1,181
未払酒税の増減額 (△は減少)	△116	3,458
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,371	△1,639
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,103	△2,453
その他	203	△702
小計	15,338	17,771
利息及び配当金の受取額	541	683
利息の支払額	△177	△213
法人税等の支払額	△9,123	△3,319
保険金の受取額	652	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,231	14,922
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,001	△1,696
定期預金の払戻による収入	1,270	2,596
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,093	△14,540
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,160
補助金の受取額	32	—
その他	238	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,553	△15,796
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	456
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△7,300	△7,497
非支配株主への配当金の支払額	△1,563	△1,999
リース債務の返済による支出	△369	△492
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,551	—
その他	△840	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,625	△9,711
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,208	3,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,738	△7,339
現金及び現金同等物の期首残高	75,729	91,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,991	84,446

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,337	63,608	32,584	157,530	6,749	164,279	—	164,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483	121	2	608	8,827	9,435	△9,435	—
計	61,820	63,730	32,587	158,138	15,577	173,715	△9,435	164,279
セグメント利益	2,059	5,658	10,870	18,588	1,243	19,831	△216	19,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益の調整額△216百万円は、セグメント間取引消去14百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△231百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,704	76,881	19,116	156,702	6,470	163,172	—	163,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	486	282	0	768	8,396	9,165	△9,165	—
計	61,190	77,164	19,116	157,471	14,866	172,338	△9,165	163,172
セグメント利益	3,952	6,256	1,410	11,619	1,193	12,812	△348	12,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益の調整額△348百万円は、セグメント間取引消去△5百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△343百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年11月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

株主還元および経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行います。また、あわせて当社の自己株式の保有方針に則り、自己株式の消却を行います。

## 2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                                      |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 300万株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.52%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 30億円(上限)                                    |
| (4) 取得期間       | 2023年11月13日から2024年2月20日まで                   |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付                             |

## 3. 自己株式の消却の内容

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式  |
| (2) 消却する株式の総数 | 上記2.により取得する株式の全株式数<br>(消却前の発行済株式総数に対する割合 1.50%(上限株数300万株の場合)) |
| (3) 消却日       | 2024年2月29日  |